

# [dōnk]

## DONC どんく

発行

### 三重日仏協会

SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東丸之内21-4 オーデンビル

3F / Siege : Oden Building 21-4

Higashi Marunouchi Tsu JAPON

N° 39 janvier 1997 SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

## 10周年記念事業 シャンソン・トライアングルコンサート 満員のシャンソン・ファンを魅了

三重日仏協会創立10周年記念事業(Ⅱ)として取り組んだ〈ラ・シャンソン・トライアングル〉コンサートは、96年暮れの12月19日夜、津市の三重県教育文化会館ホールで開催され、日仏3人の音楽家が創り出すエスプリあふれるステージは満員の聴衆を魅了しました。〈トライアングル〉は関西で活躍するベテラン・シャンソン歌手杉山泰子さんが音頭をとってフランスのすぐれた歌手とピアニストとともに組織し、12月日本各地で演奏旅行をおこなったもの。ヴォーカルのミシェル・ベルガンさんはパリ・モンマルトルの有名なシャンソニエ『オ・ラパン・アジル』のトップ歌手、ピアノのジルベール・カスカレスさんは映画音楽の作曲や合唱指揮者としても高名なマルチ音楽家とあって、主催者の予期以上に前評判も高く、会員の手で販売した入場券は、コンサートの10日前には完売という盛況ぶり。長年シャンソン・コンサートがほとんどなかった三重県でも、潜在的にファンの層が非常に厚いことが感じられました。

先のラヴェル弦楽四重奏団演奏会の成功とともに、記念事業を通じて三重日仏協会の存在を県下に大きくアピールすることができました。



### 1997 今年 は 〈フランスの日本年〉

日仏両国の外相合意('94年)に基づいて、今年4月から来年3月までを〈フランスにおける日本年〉として、日仏親善・友好のためフランス国内でさまざまな事業が展開されます。主なものは、パリ日本文化会館の開館、文楽・歌舞伎公演、日本映画祭、青少年の交流強化など。同実行委員会は日仏協会(東京)内におかれています。なお、続く1998年は〈日本におけるフランス年〉となります。

## 会員のページ

本会会員の浜田文登勢さん（浜田良美、箏曲「勢ノ文会」家元）は、昨秋フランスを訪れ、パリのギャルリー・ヴィアで開催された展覧会のレセプションで琴の演奏を披露したほか、各地で三重県ゆかりの人たちと交流して来られました。今回は編集部との一問一答のかたちでご紹介します。

# 浜田文登勢さん お琴についてフランスの旅 三重県ゆかりの人たちと交流

今回のフランス訪問の主な目的は？

熊野市出身の山門ヒロユキさんと、かつて四日市に住んでいたことのあるフランス人アニェスさんご夫妻が、椅子など家具のデザイナーとしてパリで成功をおさめられ、11月大規模な展覧会を開かれるということで、そのレセプションに日本の伝統文化で花を添えようと、お琴をかついで参りました。アニェスさんの親友の豊田元子（本会会員）さんたちと一緒に。

そのパーティーはどんな様子でしたか？

会場はリヨン駅の近くにあって、たくさんの部屋がアーチ状に縦につながっているざん新な設計のものでした。大盛況で、そのときも1,000人を超える招待者が見えたそうです。お琴には興味をもった方が多く、熱心に聴いてくださいました。またお

琴だけでなく、私たちの着物にも関心が集まったようでした。余談ですが、帰りに有名なカフェ『オ・ドゥ・マゴ』でお茶をいただきました。私たちの着物姿は大変な人気で、たくさんのお客が回りに寄ってきて……残念ながら中身でなく着物がもてたんでしょう。ちゃんとした着物をきちんと着ていきましたから。

大きな楽器をもっての空の旅は大変だったでしょう。

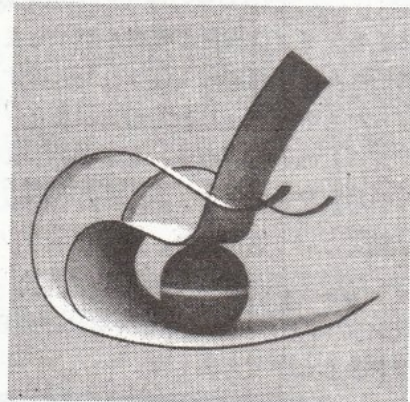
それが案外簡単に手荷物として預かってくれました。帰りは、クレマンさん（アニェスの実家）一族に記念にさし上げてきました。音楽好き、日本好きな方たちで、たった一晩でお琴で『さくら』を弾けるようになり、楽譜を書いてあげようと言ったら、筆と硯を出してこられたのには、こっち

### ■ YAMAKADO & YAMAKADO

Hiroyuki et Agnès YAMAKADO exposent leurs créations (principalement des chaises et fauteuils) jusqu'au 1er décembre à la Galerie VIA.

● 33, av Daumesnil. 75012 Paris.

Tél : 01 46 28 11 11.



Yam, 1985

「パリの新聞・OVNI」より

がびっくりしてしまいました。すてきな人たちでした。

ほかにもいろんな方と会われたそうですね。

ロワールのプロワの街に住んでいる旧友に会えて嬉しかった。高校の同級生で柴沼淳子(旧姓・波利井、実家は松阪市)さん、美術関係のお仕事で、もう長くフランスで活躍しています。彼女の車でロワールのすばらしいお城を案内してもらいました。彼女は向こうに永住するつもりの方でした。



浜田さんと山門ヒロユキさん (Galerie VIAで)

また、去年9月に四日市で演奏会を開いたラヴェル弦楽四重奏団のヴァイオリニスト・北浜玲子さん夫妻にもブルゴーニュで会うことができ、楽しい会話に花が咲きました。

三重日仏協会では10周年を機に、こちらだけでなくフランスにおいても、三重とフランスのいろんな人的関係を大切にしたいと考えていますが、その意味でも有意義な旅だったわけですね。

ほかに特に印象に残ったことは？

これまでは、いわゆるツアーに参加してすべて「おまかせ」の旅行だったのですが、今回はホテルも食事も自動車も自分たちで決めたわけで、その分どれだけ楽しかったことか。豊田さんという名通訳もいてくれましたし。

それと食事のおいしかったこと。ホテルの朝食、長田さん(本会会員)の紹介で行けたあこがれの〈タイユヴァン〉の夕食、ブルゴーニュのシャトー・ド・シャイー(本会会員・佐多さんの経営)の夕食、どれも忘れられません。また行きましょうよ。

### 浜田文登勢さん

尾鷲市出身。6歳より演奏活動を始め、12歳より琴・三弦教授。1961年NHK邦楽技能者育成会卒。文部大臣賞、日本放送協会賞など受賞。1993年「勢の文会」設立。津市、尾鷲市、京都、大阪、東京などで教室を開設。本会「パリ祭」などでの演奏でもおなじみ。

### ラヴェル弦楽四重奏団のCDあります

四日市での演奏会のあと、希望者のためにフランスから取り寄せたCDが事務局に少し残っております。ドビュッシー、フォーレ、デュティユーの各々弦楽四重奏曲が入っています。フランス文化省「ヴィクトワール賞」受賞CD。実費3,000円でお分けします。059-226-2766 井土まで

## 今年度のフランス語入門講座 3月3日(月)開講

ここ数年、教室がせまく窮屈な勉強でしたので、今回は少し広い部屋で定員も増やしました。

この機会に会員の方の受講をおすすめします。

3月3日(月)より、毎週月曜日 PM6:30~7:30、計12回。

会場 津市 津駅前 第一ビル 6F 会議室 TEL 059-227-2665 (津駅東口すぐ南側)

受講料 (12回通して)会員8,000円 会員外10,000円 初回に徴収します。講師 ジャン=フランソワ・ダメム先生

●申し込み 事務局 井土229-2766 菅谷223-2690 滝沢225-2517まで

## スロヴァキア弦楽四重奏団+大廣朋子(pf.)ほか

2月13日(木) PM6:45 開演

四日市文化会館第二ホール 前売 4,000円 当日 4,500円

●シューベルト作曲 ピアノ五重奏曲〈鱒〉(大廣さん演奏曲)

## 〈針谷宏弥ピアノ・ソロ et デュオの愉しみ〉

3月21日(金) PM6:30 開演

(後援事業)

津市・リージョンプラザお城ホール 一般 2,000円 学生 1,500円

●第1部(針谷ピアノソロ) ラヴェル作曲「高雅にして感傷的な円舞曲」ほか●第2部(針谷+1) ラヴェル作曲ヴァイオリンとピアノのためのソナタ(V.加藤慧子) / ドビッシェ作曲2台のピアノのための「白と黒」(pf.赤堀春夫)

## 伊藤隆之(pf.) & ヴィア・ノヴァ弦楽四重奏団演奏会

4月11日(金) PM6:45 開演

(後援事業)

しらかわホール(名古屋) 一般 4,000円 学生 2,000円

●フォーレ作曲チェロ・ソナタ第二番/ピアノ四重奏曲第一番/  
弦楽四重奏曲ホ短調

## 三重日仏協会例会(津)がスタート

会場難もあって、これまで定例の集まりがないまま10周年を迎えましたが、このほど一会員のご好意で適当な会場が借りられるようになったため、毎月第3木曜日の夜7:00から、下記の場所で定例会をもつことにしました。特にテーマも設けず、情報交換、雑談、必要な場合は打合わせや発送など若干の事務をおこないます。会員はどなたもご遠慮なくおいでください。お茶やワインも用意します。

会場 津市西丸之内(永井病院の南入る・線路ぎわ角) 井上様宅 ☎059-222-6616